

平成 29 年度 校長だより



# 不撓不屈

【糸満市立糸満中学校 教育目標】  
 【知】主体的に学び  
 【徳】心豊かで勤労を大切にする  
 【体】心身ともに健康な生徒

【 強い意志をもって、どんな苦勞や困難にもくじけないこと 】

発行者 校長 與那覇正樹

## 新しい授業に向けてⅢ～授業改善の取組「主体的・対話的で深い学び」～

学校便り第 9 号 (7 月 7 日発行) 第 16 号 (10 月 12 日発行) において紹介しました続編 (第 3 弾) で各先生方が推進する授業改善の様子を簡単に紹介します。文部科学省が推進する今後の授業の在り方や方向性である「主体的・対話的で深い学び」をキーワードにした授業を紹介させていただきました。

### 「主体的・対話的で深い学び」 授業改善に向けて!! 2 学年で公開授業を実施 ～主体的・対話的で深い学びを…! 授業力の向上をめざして～

10 月 30 日 5 校時に授業改善の視点から 2 年の各クラスで一斉に公開授業を実施しました。生徒の「学び合い高め合う姿」をイメージしながら「主体的・対話的で深い学び」の視点で公開授業を行いました。島尻教育事務所と琉球大学の先生方にも参観してもらい助言を受けながら、各先生方の授業改善をめざした取り組みです。



【理科 亀川善久教諭 2 年 1 組】

脊椎 (セキツイ) 動物と無脊椎動物を分類し、さらに脊椎動物の特徴をそれぞれ (個人・グループ) の視点で捉えながら表にまとめ、その根拠について説明しながら動物について理解を深め、共有していく授業でした。

【新垣大貴さん】

「僕は、生き物について区別の仕方があまり理解できていなかったけど、分類の表があって、わかりやすく、自分でも、この動物はどこどこと、わかるようになり楽しく授業できました。」

【新垣 瑠香さん】

「動物の中でもセキツイ動物、無セキツイ動物に分かれていて、他にもいろんな分類に分かれていて、すごいと思った。コウモリやカモノハシなど鳥類と両生類だと思っていたので、ちゃんとした分類がわかってよかった。」

【社会科 長岐公平 教諭 2 年 3 組】



大都市に人口が集中するメリットとデメリットを写真・グラフ・地図の資料から産業の特色・工業の特徴を個人・グループの視点で気づき、捉えながら人々の生活が変化していることについての理解を深め、共有していく授業でした。

【比嘉羽生士さん】「関東地方の工業・産業のしくみがよくわかり、都市部で年々変わっている様子がわかった。」

【伊敷妃菜美さん】「2020 年にオリンピックが開催される東京での貿易や工業の発展について、いろいろ学べたのでよかったと思います。」

【英語科 金城晴美 教諭 2 年 2 組】

つなぎ言葉を用いて英文を作り、ペアで会話を行う授業でした。(一文をプラスして会話をつなげる)

We have to clean our classroom ?



〈～しなければなりませんか?〉

Do you have to clean your classroom ?

Yes, we do / No, we dont

We have to eat school lunch



〈～する必要はありません〉

We dont have to bring lunch

【松竹竜誠さん】「色々な単語を知りました。」

【永井愛佳さん】

「Yes/No に一文をプラスするのが少し難しかったけど楽しく授業をすることができました。」

【国語科 河村千佳子 教諭 2 年 4 組】



短歌に描かれている情景や作者の心情について、個人で考え、グループで話し合い発表し全体で共有した後、それぞれ (個人) で鑑賞文を書くという授業でした。短歌の句切れや表現方法を理解しながら、共感・感動したことを互いに話し合いながら、短歌のなかの情景や心情を言語化 (説明) し、理解を深める内容でした。

【新垣次成さん】「とても難しかった。でも、グループの活動や発表をがんばることができた。」

【玉城菜花さん】「グループで話し合ってみると、自分では考えられないことや気づくことができない所を知ることができたので、とても充実した 1 時間になりました。」

「主体的・対話的で深い学び」

**音楽科：1年5組【宮里行乃 教諭】**

～歌詞が表す心情と曲想を生かした合唱表現を工夫しよう!!～

10月27日に1年5組で宮里行乃教諭による音楽科の研究・公開授業が実施されました。合唱活動を通して、音楽の大切な要素(強弱・速度・旋律)や歌詞に着目し、歌詞が表す心情等について考え、話し合い活動によって合唱表現を工夫していこうという授業でした。このような曲想を生かした細やかな配慮と工夫が感動の合唱に繋がっていくことに感心させられた内容で、行乃先生の情熱あふれる指導力と生徒の笑顔あふれる授業でした。

【奥崎彩花さん】「どのように歌えばいいのか、しっかり考えることができて楽しかったです。表現の工夫をして、すばらしい歌をつくりたいです。」

【新垣亜実さん】「(歌の)部分によって、記号がどのような(意味を持つ)ものなのかわかりました。ちゃんと記号どおりに歌いたいです。」



「主体的・対話的で深い学び」

**英語科：1年1組(屋宜 大仁 教諭)**

～内容を理解し、自分の英語で伝えよう!!～

10月23日に1年1組で屋宜大仁教諭による英語科の公開授業が実施されました。外国語理解能力の「読むこと」に焦点をあてながら、個人・ペアで教え合い教科書の内容を正しく読むことを意識した授業でした。特にICTを効果的に活用しながら、「英語を間違えることを恐れない」雰囲気でのこのからのグローバルな時代を担う生徒へ向けた授業でした。



「主体的・対話的で深い学び」

**社会科：1年5組【内山 直美 教諭】**

～10.30 世界に広がるウチナンチュ!!～



10月31日に1年5組にて内山直美教諭による社会科の特設・公開授業が実施されました。これは、特設授業として世界・日本における「沖縄」の現状・歴史的背景等を学び、基礎的知識・技能を習得し、自分の考えを深め、表現する力を培いながら、国際社会・地域社会に参画する力と発信する力を育成する取り組みです。今回は10月30日の「世界のウチナンチュの日」に焦点をあてながら、沖縄県系の人々の沖縄を誇りに思う気持ちや文化の継承・アイデンティティの確立に対して自分の考えや意見を述べ、自分の地域を誇りに思う気持ちや参画する力を育成しようとする授業でした。



今回は10月30日の「世界のウチナンチュの日」に焦点をあてながら、沖縄県系の人々の沖縄を誇りに思う気持ちや文化の継承・アイデンティティの確立に対して自分の考えや意見を述べ、自分の地域を誇りに思う気持ちや参画する力を育成しようとする授業でした。

【クイズ】 日系人が多い国はどこでしょう?《アメリカ合衆国・ブラジル・フィリピン・ペルー》

(4択です) 現在、およそ何人の日系人がいるのでしょうか?《約20万人・約30万人・約200万人・約300万人》  
海外にいる日系人のうち沖縄系の日系人の割合は?《0.1% ・ 5% ・ 15% ・ 30%》

「主体的・対話的で深い学び」

**理科：3年4組(吉田健太郎 教諭)**

～力の3要素をふまえ、実験を成功させるコツをアドバイスできる!～



11月8日に3年4組で吉田健太郎教諭による理科の公開授業が実施されました。ダルマ落としを例に、ペットボトルにのせたトランプ上にあるコインや輪っか上にあるナットをうまくペットボトルの中に入れる実験をそれぞれで行いながら、そのコツをお互いで伝え合い、力の三要素(力を加える場所・力の向き・力の大きさ)を理解していく授業でした。

健太郎先生の工夫とアイデアで理科のおもしろさを堪能できる時間でした。

【長田 悠さん】「今日は、ナット落としをしました。グループで協力して一番成功しやすいコツを見つけました。」

【野原健孝さん】「難しい一つ一つの実験がコツをつかんだらだんだんできるようになったので、よかった。この調子で他の教科もがんばりたい。」

【上良奈菜子さん】「ちょっとしたゲーム形式の実験で楽しかったです。また、それぞれのグループのアドバイスを分かりやすくして実験を成功することができたので、みんな、すごいなあと思いました。」

【伊敷梨々花さん】「今日の理科の授業を終えて、実験の楽しさを知りました!これからの実験で自分の考えを表現できるようにしたいです。」